

# 《 2019造形班 陶芸による造形表現 》

●インテリア科3年 加賀野 水田 杉村 藤本

## 1 はじめに

造形班は、陶芸用粘土を使って主に器を作りました。しかし、目的は器を作ることではなく、粘土を使った造形表現であり、自分が「良い」と思える形を目指しました。全体の目標は、「自分の形を見つける」ということです。4月から製作を始め、その過程と出来上がった作品を見てテーマを設定することにしました。

## 2 課題研究の過程

4月	粘土、釉薬、道具等の確認	9月	釉薬付け・第一回 本焼き
5月	製作開始、陶芸技術研修	10月	製作(成形・削り出し)
6月	製作(成形)	11月	第二回 素焼き
7月	製作(乾燥・削り出し)	12月	第二回 本焼き
8月	第一回 素焼き	1月	作品鑑賞・発表

## 3 課題研究の取組内容

①産地別粘土の状態把握 ②粘土成型用道具の把握 ③成型方法の研究(手びねり、ろくろ) ④手びねり製作実習(技量アップ) ⑤ろくろ製作実習(技量アップ) ⑥釉薬の把握 ⑦釉薬付け ⑧電気炉の把握 ⑨電気炉による素焼き ⑩電気炉による本焼き ⑪作品鑑賞 ⑫作品整理 ⑬研究のまとめ(資料集め) ⑭発表準備 ⑮発表

## 4 課題研究の取組状況(写真)



## 5 各人のテーマと感想

**加賀野 「 例:色々な模様の食器 」**

面白いものを作りたくて、表面に色々な模様や絵を入れました。思ったようにはいきませんでした、まあまあ良い作品ができたと思います。

**水田 「 例:様々なコップ 」**

食卓の雰囲気に合わせて使えるように、和風と洋風のコップを作りました。ちょうどよい厚みを見付けることが大変でした。

**杉村 「 例:いろんなお茶碗 」**

私は殆どを電動轆轤で製作しました。失敗も多かったですが、慣れると成形が早く、きれいに仕上げることができました。使う人によってサイズを決め、そのサイズにすることを目標にしました。

**藤本 「 例:個性的な陶器たち 」**

オリジナルの作品を作りたくてこのテーマにしました。自分でデザインを考えて作ったり、反省点を踏まえて工夫したりするところが楽しかったです。